

生活保護費引き下げに不服申し立てを

食費削減、見切り品、特売日に買い物

「8月から生活保護費が5,130円も下がった。いまでも生活がぎりぎりなのに、こんなに削減されては生活ができない」などの訴えが日本共産党水戸市議団によせられました。この4人家族は夫は病気で働けず生活保護を利用し、食費を削減するために、夜になって値下げになった見切り品を買い、スーパーの特売日に買い物しています。

平均6.5%の引き下げ 670億円削減

安倍内閣は今年8月から生活保護の引き下げを実施しました。3年間で段階的に平均6.5%、最大で10%、総額670億円を削減するとしています。今回の引き下げに続き、来年4月、再来年4月に引き下げが実施されます。

家族が多い世帯ほど削減。最大で10%も

8月1日からの生活保護費削減額(今回)	
家族構成	削減額(円)
夫婦(40歳代)と小学生、中学生の4人家族	6,070
母子家庭(40歳代)と子ども2人の3人家族	5,080
母子家庭(40歳代)と子ども4人の5人家族	6,670
高齢者(60歳代)の単身世帯	760
高齢者(70歳代)の単身世帯	1,130

不服審査請求書を県に提出しよう



中庭議員に生活保護削減反対を訴える男性。8月27日水戸市見川5丁目

今回の削減は家族が多い世帯ほど削減が多くなります。今後行われる2回の削減で、最大10%の削減となります。

安倍内閣は生活保護費の削減を突破口に社会保障制度を大幅におこなう方針です。

中庭議員、削減に反対を主張

8月9日の市議会文教福祉委員会で中庭次男議員は生活保護費の削減は反対だと主張しました。

7月から食料品などが値上げになり、さらに来年4月から消費税増税が計画されているなかで、生活保護費の削減は、生活困窮者いじめです。また削減は就学援助や保育料の減免などの対象者を狭め、社会保障制度の大改悪です。中庭議員は削減の撤回を主張しました。

生活保護費削減反対 審査請求書は9月20日までに

水戸生活と健康を守る会は、生活保護費の削減に反対する審査請求書を9月末に県に提出する方針です。審査請求書の用紙は守る会(252-7603、水戸市河和田3丁目)にあります。

生活保護を利用している方はぜひ、審査請求書を提出し、削減を撤回させましょう。

また日本共産党水戸市議団でも請求書の用紙があります。



審査請求書はまとめて県に提出しますので、9月20日までに水戸生活と健康を守る会または日本共産党水戸市議団にご連絡をお願いします。

9月市議会に3つの意見書を提出

9月4日から26日まで9月定例市議会に開かれます。日本共産党水戸市議団は3つの意見書を提出しました。

- 「来年4月からの消費税増税の中止をもとめる意見書」
- 「福島第一原発の汚染水に関する抜本的対策をもとめる意見書」
- 「70歳から74歳までの医療費個人負担の1割負担を2割負担に引き上げることに反対する意見書」

**代表質問11日、中庭次男議員
一般質問12日、13日、
田中真己議員、江尻かな議員**



田中まさき
(247)3714



江尻かな
(243)6888



中庭次男
(251)3254